

朝鮮事業公債法改正法律案外二件特別委員會議事速記録第二號

昭和二年三月十六日(水曜日)午前十時十
九分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、先づ關東州事業公債法中改正法律案ニ付テ關東廳ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(西山左内君) 關東州事業公債法中改正法律案ノ點ニ付キマシテ大體ヲ御説明申上ダマス、事業公債法中法定額ハ三百十万圓トナツテ居リマス、之ヲ七百八十万圓ニ改正スルト云フノガ改正ノ趣旨デゴザイマシテ、今回此起債法定額ヲ増額スルコトニナリマシタノハ、大連ニ於ケル水道ノ事業ヲ擴張スルト云フ爲ニ今回六箇年ノ繼續費ト致シマシテ、七百十九万圓ノ經費ヲ繼續費トシテ計上スルコトニナツタノデアリマス、其中公債支辨ト致シマシテハ六百四十万圓ヲ要求シテ居リマシテ、後ノ七十九万圓ハ一般ノ財源カラ支給スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、昭和二年度ニ於キマシテハ百万圓ノ公債年割額、斯ウ云フヤウニナツテ居リマス、其水道擴張工事ノ内容ハ新タニ千六百方噸許リ貯ヘル所ノ貯水池ヲ一ヶ掩ヘマスルコト、ソレカラ大連市内ニ於ケル配水ノ裝置ヲスル、此二ツノ事柄ニ分レテ居ルノデアリマス、貯水池ニ對シマシテハ約五百五十七万圓バカリ、ソレカラ一方ノ大連市内ノ配水裝置ヲスルト云フノガ百六十萬餘圓デゴザイマス、之ヲ先程申上ダタ通り六箇年間ニ適宜ニ按排シマシテ仕事ヲシテ行クト云フコトニナツテ居リマス、大體此公債法ノ改正ノ趣旨ヲ御説明申上ダタ次第ニアリマス

○政府委員(廣瀬直幹君) 關東州ノ中デ、大連市ニ配水ヲ致スト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、大連市ノ人口ハ丁度二万程最近ノ統計ニアルコトニナツテ居リマス、其人口ニ配給スルト云フコトデアリマスガ、尤モ大連市ヲ中心ニ致シマシテ市外が多少發展ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、若干是ガ大連市ノ郊外ノ方ニモ配給サレルヤウニナル積リデ居ルノデアリマス。○黑岡帶刀君 私ノ住ツテ居ル鎌倉ニモ水道ノ計畫ガアルガ、ソレニ百万以上要スルト云フコトデ、ソレニ償却ノ方法ガドウモマダ解決ガ著カンデ色ニ困ツテ居ルヤウデスガ、此公債ノ償却ト云フモノハ大連市ガ負擔スルノデアリマセウカ、又關東州全體デ負擔スルノデアリマセウカ、其コトヲチヨット分ツテ居レバ……勿論分ツテ居ル筈デスカラ……

○政府委員(廣瀬直幹君) 此衆議院ノ速記録ニ依リマスルト、水ノ料金ガ段々ト等級ガアルヤウニ見エテ居リマスガ、船舶ニハ五十四錢位ト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデスガ、ソレハ殆ド一般ノ倍額位ニナツテ居ルガ、ソレカラ其他ノ工業用トカ或ハ一般ノ家庭用トカ云フヤウナモノハ段々ソレド又アレガアルヤウデアリマスルガ、ソレハチヨットアリマスルト大抵水道ト云フモノハ市ガ經營シテ居リマスルカ、關係ノ町村ガ經營シテ居ルヤ否

○政府委員(廣瀬直幹君) 大連市ノ方ハ、アソコノ制度ハ内地ト違ヒマシテ、内地デアリマスルト大抵水道ト云フモノハ市ガ經營シテ居リマス、船舶上云フモニテ居ルヤ否

○政府委員(廣瀬直幹君) 關東州ハ御承知デモアリマセウガ、非常ニ雨量ガ少ナイノデアリマス、從ツテ水道等ノ設備ニ致シマシテモ、内地ノソレト較ベマシテ貯水池等モ相當大キナ集水面積ヲ持ツテ居ル貯水池ヲ掩ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトガアリマスル爲ニ、從來第一期、第二期、第三期ト貯水池ヲ掩ヘマシタノデモ、是モ相當其規模ガ大キクハ致シテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ御承知ノ大連市ハ新興ノ

所デアリマスルカラ年々人口ガ非常ナ割合ヲ以テ殖エル、最近ノ十年間ノ統計カラ申シマシテモ、毎年一割八分何厘カノ人口ガ增加スルト云フ具合ニ人口ガ增加イタスノデアリマス、ソレト同時ニ支那人ハ比較的此水ヲ使用スル分量ガ少ナカッタノデアリマスルガ、最近段々水ノ使用ノ便利ナコトヲ考ヘルヤウニナリマシテ、大連市ニ居リマスル支那人モ從來ヨリハ多ク水ヲ使フト云フヤウニナリマシタシ、一方二人口ガ增加スルト云フヤウナ關係ガアリマスル爲ニ、從來ハ其水道ヲ拵ヘマシテモ家事用水、飲料用水ヲ充タスト云フコトニ汲々トシテ居ルヤウナ狀態デアリマスル爲ニ、從テ工業用水等ハ非常ニ高イ料金ヲ取テ居ルノデアリマス、一噸二十四錢、船舶ニ付キマシテハ一立方米五十四錢ト云フヤウナ非常ニ高イ料金ヲ取テ居ルノデアリマス、是ハ一方カラ申シマスルト工業ノ發達ヲ阻止スルト云フヤウナ關係ニナリマスルノデ、甚ダ遺憾デアリマスル爲ニ、今回ハ一方ニ於キマシテハ丁度此水道が完成イタシマスル頃ニハ飲料用水モ現在ノ貯水池ヲ以テ致シマシテハ足リナイヤウニナルカラ、是非ソレ迄ニ、昭和六年頃迄ハ丁度人口ガ少ナク見積リマシテモ二十五万位ニナル、サウ云フコトニナリマスレバ現在ノ水道ノ給水デハ足リナイ、飲料用水ガ差當り足リナイト云フヤウナコトニナリマスルカラ、飲料用水ニ付テ相當ニ供給ヲ致シマスルト同時ニ、此工業用ナリ、船舶ニ供給イタシマスル用水ヲ豊富ニシヤウト云フノガ今回提案ニナリマシタ趣意デアリマス、關東州ハ背後ニハ満洲ノ南北満ノ奥地ヲ控ヘテ豊富ナル原料ガアルノデアリマスルガ、今日デハ唯通過貿易ト云フヤウナコトデアリマシテ、工業ガ餘リ發達シテ居ナイノデアリ

マスルガ、ドウシテモ關東州ノ將來ト致シマシテハ、アスコハ一大工業地ニスル必要ガアルト認メテ居ルノデアリマスルカラ、サウナリマスト云フト、ドウシテモ此工業ノ基礎トナル所ノ工業用水ヲ豊富ニシ、而カモ其料金ヲ安クスルト云フコトニナラナケレバ工業ノ發達ト云フモノハ願ハレヌモノデアルト云フヤウナコトカラ、數年來マア研究ハ致シテ居タノデアリマスルガ、昨年ハ餘程ソレヲ痛切ニ感ジマシテ、京都アタリカラ水道ノ「オーソリチー」ノ大江博士等ヲ招聘ヲ致シマシテ、具ニ調査研究ヲ致シマシタ結果、茲ニ提案ヲイタスヤウニナリマシタノデアリマス、從テ此案が通過イタシマスヤウニナリマスレバ飲料用水ハ勿論デアリマスルガ、工業用水モ是非出來ルダケツクシテ少ナクトモ家事用水ヨリモ以下位ニシタイヤウナ當局ノ考ヲ有テ居ルノデアリマス、船舶ニ付キマシテモ同様出來ルダケ料金ヲ低下シタイモノデアルト云フヤウナ考ヲ有テ居リマスノデアリマス、今日ノ所ハ矢張船舶ニ致シマシテモ規則ノ上デハ唯今申シマシタヤウナ料金ヲ徵收イタスコトニナラテ居ルノデアリマス○黑岡帶刀君 是ハ少シアナタ方ノ方ト關係ガ違フカ知レマセヌケレドモ大連ノ稅關ハ支那ノ出張所デアリマスルガ、ソレニ付テハ今ドウナシテ居ルカ分ラヌ、少シ疑問デアリマスガ、私ハ明治二十六年頃ニ軍艦ノ方ニ關係シテ居リマシタ時ニハ例ヘバ日本ノ正宗デモ四斗樽デモ買ヒマスト支那ノ稅關ノ方ニ戻稅ヲヤルト云フヤウナコトデ、ソレカラ布哇ニ三十年ニ行シタ時デモ矢張リ「シヤムパン」デモ買ヒマスト戻稅ヲヤル、ソレハ即チ外國ノ領土ト見マシテ戻稅ヲヤリマス、酒ハ大變安ク手ニ入ルコトガ出来タノデアリマス、サウ云フヤウナコト

ハ今支那ノ稅關デハヤツテ居リマスカ、ドウデアリマスカ、御分リニナリマセウカガアルト認メテ居ルノデアリマスルカラ、サウナリマスト云フト、ドウシテモ此工業ノ基礎トナル所ノ工業用水ヲ豊富ニシ、而カモ其料金ヲ安クスルト云フコトニナラナケレバ工業ノ發達ト云フモノハ願ハレヌモノノデアルト云フヤウナコトカラ、數年來マア研究ハ致シテ居タノデアリマスルガ、昨年ハ餘程ソレヲ痛切ニ感ジマシテ、京都アタリカラ水道ノ「オーソリチー」ノ大江博士等ヲ招聘ヲ致シマシテ、具ニ調査研究ヲ致シマシタ結果、茲ニ提案ヲイタスヤウニナリマシタノデアリマス、從テ此案が通過イタシマスヤウニナリマスレバ飲料用水ハ勿論デアリマスルガ、工業用水モ是非出來ルダケツクシテ少ナクトモ家事用水ヨリモ以下位ニシタイヤウナ當局ノ考ヲ有テ居ルノデアリマス、船舶ニ付キマシテモ同様出來ルダケ料金ヲ低下シタイモノデアルト云フヤウナ考ヲ有テ居リマスノデアリマス、今日ノ所ハ矢張船舶ニ致シマシテモ規則ノ上デハ唯今申シマシタヤウナ料金ヲ徵收イタスコトニナラテ居ルノデアリマス○黑岡帶刀君 私ハ明治二十七八年頃ニ仁川ニ居マシテ、其時ニハ主ニ四斗樽ヤ正宗ナンカラ買ヒタヤウニ思ヒマスガ、其時ハ矢張リ戻稅ヲヤツタノデアリマス、日本ノ酒デアルカラニ併シ瓜哇ニ居ル時ニハ日本酒デヤナクテ「シャンパン」トカ、「セリー」酒トカ、ソレハ矢張リ戻稅デアッタガ、外國カラ來タ時ニハ、矢張リ戻稅ノヤウナモノガアルデセウカ、ドウデセウカ

○政府委員(廣瀬直幹君) 關東州デハヤツテ居リマセヌ○黑岡帶刀君 大連デハ…○政府委員(廣瀬直幹君) 關東州デハヤツテ居リマセウ○黑岡帶刀君 宜シウゴザイマス○淺田德則君 私ハ政府委員ニチヨット御尋シマスガ、便宜ノ爲ニ地圖カ何カガアリマスナラバ、ソレヲ以テ速記ハ暫ク止メマシテ、サウシテ先づ地圖ニ就テ…○委員長(伯爵黒木三天君) 速記ヲ止メ

○(速記中止)

○黑岡帶刀君 此周水附近ニ工場ヲ設ケラレル、唯今ノ御見込ハ何工場デスカ○政府委員(廣瀬直幹君) 唯今周水ト申上地區ガアリマシテ、ソレガ更ニ擴張イタリマシテ、周水ト大連驛ノ間ニ小岡子ト云フ所ガアリマスノデ、小岡子ノ方ニ一部工場地區ガアリマシテ、ソレガ更ニ擴張イタリマシテ、周水ト大連驛ノ道路ヲ拵ヘテ居リマスレバ海岸ノ方ニ大キナ香爐礁ト云フモノガアリマス、ソノ方面マデ擴張イタス積リデアリマスルガ、周水ノ方ハ餘程…現在大連周水間ニ九間幅ノ道路ヲ拵ヘテ居リマスルカラ、之ガ略完成スルヤウニナラテ居ルノデアリマス、サウナリマスルト大連周水間ノ邊ハ非常ニ宜シクナリマスルケレドモ、未ダ直チニ其方面マデ工場地區ガ行クト云フヤウニハ考ヘテ居リマセズ、具體的ノ未ダ計畫ハ立ツテ居リマセヌ○黑岡帶刀君 サウ致セバ何ノ工場カ知リマセヌケレドモ、原料ハ矢張リ満洲ノ產物ヲ利用ナサルノデアリマスカ、満洲以外カラ輸入スル原料ヲ御求メニナラテ加工シテ仕事ヲナサルノデアリマスカ○政府委員(廣瀬直幹君) 今日ノ工業ノ主ナルモノハ、御承知ノ如ク満洲ノ特產物デアリマスル大豆カラ油ヲ採リマスシ、豆粕ヲ製造スルト云フコトガ主ニナラテ居リマス、其以外ニ満洲ノ原料ヲ用キマシテ「ゼメント」ヲ拵ヘテ居リマス、或ハ硝子ヲ拵ヘテ居ルノデアリマス、多少柞蠶絲ノ製造モ致シテ居ルノデアリマスガ、主トシテ満洲ノ原料品ヲ持タモノデ、工業ヲヤツテ居ルヤウナ今日ノ狀態デアリマス、恐ラク將來ト雖モ矢張リ満洲ニ出マスル豊富ナル原科ヲ以テ工業ヲ盛シニスルヤウニナルダラウト思ヒマス

○黑岡帶刀君 先刻説明ノアッタ大連ノ方

ハ人口二十万ト云フ、其中ニ日本人ハ幾ラ

居リマセウカ

○政府委員(西山左内君) 日本人ガ七万三

四千二

○委員長(伯爵黒木三次君) 如何デゴザイ

マセウ、モウ御質問ハゴザイマセヌデゴザ

イマセウカ

○淺田徳則君 唯今ノ二十万ノ内七万何千

トカ、日本内地人、サウシテ外ハ支那人ガ

居ル譯デスカ、朝鮮人ハ日本人ト同様ニ見

テアリマスカ

○政府委員(西山左内君) 其外ニ朝鮮人ハ

總計デ大連市ニ約七百二十三人居リマス

○淺田徳則君 アトハ支那人デスカ

○政府委員(西山左内君) アトハ支那人

等デゴザイマスガ、三百四十四人、是ハ露

西亞人其他英米人デアリマス

○淺田徳則君 是ハ支那人ノ方ハ一時的出

稼ギトニ云フヤウナ者ガ多イノデスカ、矢張

リ大抵是ダケノ者ハ平常定住シテ居ルノデ

ザイマス

○政府委員(西山左内君) 今御説明申上ゲ

マシタヤウナ支那人ノ數等ハ定著ノ數デゴ

スカ

○大城兼義君

此七百八十万ノ公債ニ對シ

テハ其償却ハドウ云フヤウナ御見込ガアル

モノデセウカ

○政府委員(西山左内君) 此償還ノ見込ノ

計畫ハ大體昭和二年冬カラ据置期間六箇

年、其六箇年ガ過ギマシテ後、十年間ニ此

水道ノ收入其他一般財源等ニ依リマシテ償

還スルスウ云フ見込デゴザイマス、併シ

其後債券ノ事情及緊急已ムヲ得ザル事業等

ガ出來マスル場合ハ或ハ見込ニ相當ニ變更

ヲ加ヘルコトニナラウト思ヒマスガ、今分

ノ所デハ先ヅサウ云フ風ナ見込ニナツテ居

リマス

○大城兼義君

今ノハ分リマシタガ、關東

州ノ狀態トシテ將來發展ノ見込トシテハ如

何ナル狀態ニ在ルモノデセウカ

○政府委員(廣瀬直幹君) 最前申上ダマシ

タ如ク將來ノ關東州ト致シマシテハ満洲奥地ヲ控ヘマシテ豊富ナル原料ト廉價ナル勞

力ガアルノデアリマスカラ、是非トモ一ツ

關東州ト申シマシテモ大連ガ中心ニナルノ

デアリマスルガ、大連附近ニハ工業ヲ主ト

シテ發展サンタイト言フ考デ居ルノデアリ

マス、是ガマア今日其水道ガ出來ル主ナル

理由ニナツテ居ルノデアリマス、ソレニハ唯

工業ヲ拵ヘルト申シマシテ漠然ト工業ガ出

來ルト言フヤウナ譯ニモ行キモセヌノデ、

一ツニハ關東州ハ御承知ノ鹽ガ非常ニ澤山

出來ル、天日製鹽ガ出來マスノデソレヲ利

用イタシマシテ曹達灰工業ヲ關東州デ拵ヘ

タイト言フノデ、數年來人ヲ外國ニ派遣イ

タシマスルシ、九州大學ノ曹達灰ノ「オー

ソリチー」デアル西川博士等モ囑託イタシ

マシテ之ニ關スル調査研究ヲ致シテ居リマ

スルト言フノデ、數年來人ヲ外國ニ派遣イ

タシマスルシ、九州大學ノ曹達灰ノ「オー

ソリチー」デアル西川博士等モ囑託イタシ

マシテ之ニ關スル調査研究ヲ致シテ居リマ

出マスシ豆粕若クハ豆油トナツテ出テ居ルノデアリマスルガ、段々此豆粕トカノ如キモノモ色ニテ硫安等ノ爲ニ打撃ヲ被ル、將來豆粕ヲ作り豆ヲ拵ヘテ居タダケデハ満洲ノ特產物ニ工業ヲ活カス途デナイノデアルカラ是ニハ一ツ相當研究シナケレバナラスト云フノデ大連市ノ如キモ矢張リサウルガ本年アタリモ二十餘万圓金ヲ出シマシテ大々的規模ノ調査ヲヤラウト言フコトニ

ナツテ居リマス、是ガ段々出來テ參リマス

ト云フト大連市ノ工業モ相當ナモノガ出來

ヤシナイカト思フテ居ルノデアリマス、尚

ト云フト大連市ノ工業モ相當ナモノガ出來

ヤシナイカト思フテ居ルカ、サウ云云マス

トカ労働者ガ居マセウカ、是カラ工場ヲ段

段御擴張ニナレバ其労働者ト云フモノハ主

ニ支那人デアリマセウカ、又其中日本人モ

矢張リ從事スル譯ニナリマセウカ、又水產

ノコトモ御話ニナリマシタガ、其水產ノ中

ニ日本ノ漁撈家ガ多少這入テ居ルト考へ

マスカドノ位這入テ居ルカ、サウ云云マス

トヲヨット判ツテ居レバ御話ヲ願ヒタイ

○政府委員(廣瀬直幹君) 滿洲ニ於キマス

ル工業ガ發展イタシマスレバ勞働者モ、日

ニ日本ノ勞働者モ多少ハ增加イタシマスルケ

レドモ、主トシテ支那人ヲ使ツテ居ルノデ

アリマシテ、ドウモ其勞働者トシテハ支那

人ニハ匹敵ガ出來ナイヤウニ思フノデアリ

マシテ、日本人ハドウシテモ資本ト知識

ト、ソレト主ナル幹部、マア工場ニ於キマ

シテハ職工長トカ或ハ監督トカ、最高ノ技

術ヲ有ツ者トカ云フヤウナコトデ、要スル

ニ日本人ガ此工場ノ主ナル所ハ支配スル、

資本ト知識デ以テ支配スルト云コトガ主

ニナリマシテ、多ク支那人ノ勞働者ガ採用

セラルルヤウニナルダラウト思フノデアリ

マス、唯今關東州就中大連市内ダケノ統計

ノ一寸持チ合セガアリマセヌケレドモ、工

業ヲ致シテ居リマシテ、之ニ付キマ

シテモ折角努力ヲ致シテ居ルトシテ相當水

産業ノ發達ニ努力ヲスレバ是亦相當ノ成績

ヲ得ラレルモノト信ジマシテ、之ニ付キマ

シテモ折角努力ヲ致シテ居ルトシテ相當水

産業ノ發達ニ努力ヲスレバ是亦相當ノ成績

張り相當ナ水產ニ於テハ今日ハ知識ハ有ツ
テ居リマスルシ、關東州内ニ於キマスル小
サイ漁業ハ支那人ガ大部分ヲ占メテ居ル、
日本人デ見マスト矢張り發動機ヲ以テ：
大キナ發動機：「トロール」ハ非常ニ少イ
ノデアリマスルケレドモ、主トシテ底曳網
ナリ發動機ヲ有ナマシテ之ニ從事シテ居リ
マス、其他鯛延繩等ヲ日本内地カラ這入リ
マシテ彼處ヲ根據トシテヤツテ居ルト云フ
ヤウナ譯テアリマス、支那人ト雖モ大キナ
漁業者ハ大キナ發動機ヲ有ナタノモアリマ
スケレドモ、大部分ハ日本人ガヤツテ居
ノデアリマス、恐ラク將來ト雖モサウ云フ
發動機ヲ以テヤルノハ何ヲ申シマシテモ日
本人ガ勝ヲ制スルノデ、此方面ハ多ク日本
人ノ方が重要ナル地位ヲ占メルヤウニ考ヘ
テ居ルノデアリマス

マスガ比較的の人口ガ多クアリマシテ、從テ……デ、アリ
ニ六十五六万ノ人口ガアルノデアリマシテ、其間
テ、人口ノ密度ト致シマシテハ日本内地ニ
比べマスレバ勿論稀薄デアリマスケレド
モ、相當支那人ノ人口ガ稠密デアリマスカ
ラ、此以上日本人ガ多ク移住イタシマシテ、
開墾等ニ從事スル餘地ハ比較的少イトハ思
フノデアリマス、併ナガラ多少マダ餘地ガ
ルアルノデアリマシテ、水田等モ幾ラカヅ
ツ拵ヘサセマスシ、ソレカラ最前申上ダル
コトヲ忘レマシタガ、養蠶ガ非常ニ見込ガ
アリマス爲ニ、今片倉組等ガ會社ヲ拵ヘマ
スシ、養蠶ヲ頻リニ獎勵イタシテ居リマス
ガ、日本人ト致シマシテハ若干ノ水田ヲス
ルニ餘地ガアル、或ハ果樹ノ栽培ニモ力
ラ八レテ居リマス、當今デハ養蠶ノ方ニモ
力ヲ八レテ居ルノデアリマスカラ、日本内
地ト比べマシテハ餘程マダ關東州内ト雖モ
餘地ハアラウト思ヒマス、満鐵ノ沿線ノ面
積ハ極メテ狹イ所デアリマスカラ、附屬地
内ハ少イノデアリマスガ、所謂日本ノ勢力
圈内ヲ離レタ所ノ南北満洲ト云フ所ハ御承
知ノ通リ非常ニ危大ナ所デアリマシテ、此
處ハ人口ハ極メテ稀薄ナノデアリマス、關
東廳ト致シマシテモ是等ノ方ニ付テハ移住
ノ餘地ハ十分マルト思フノデアリマシテ、
日本人將來ノ人口ノ増殖ナリニ對シ若クハ食
料問題ニ對シマシテハ南北満洲ト云フ所ガ
ドウシテモ此問題ノ大部分ヲ解決スルノデ
モ知ラヌケレドモ、日本人ガ……支那人ガ
利益スルト共ニ日本人モ利益ヲシテ行クト
云フ所謂共存共榮ノ點カラ申シマスレバ、
満鐵イヤ、南北満洲ニ於テ日本人ガ大イニ

ス、中ニハ満洲ニ對シテハ行^フテモ逆モ日
本人ト支那人トハ生活ノ狀態ガ違フ、日本
人デ見ルト云フト多少贅澤ナ暮ラシヲシテ
梁見タイナモノヲ食^フテ極メテ粗衣粗食ニ
甘ンジテ居ルノデスカラシテ、移住ニハ適
セナイト云フモノガアルヤウデアリマス、
私共ノ一部分モサウ思フノデアリマス、單
ニ移住スルノデアレバ、資産ガナクシテ移
住スルト云フコトデアリマスレバ、満洲方
面ハ不適當カト思フノデアリマスケレド
モ、其間ニ支那人ノ金及出來ナイ相當資本
ヲ持^フテ行キ、支那人ヲ使^フテ中農組織、大
農組織ト云フコトヲヤ^フテ行キマスト、支那
ノ方面ニ於テ相當日本人ノ發展ノ餘地ガア
ルガ、但シ今日ハ御承知ノ商租問題ガ解決
イタシテ居リマセヌ爲ニ日本人ガ滿鐵ノ沿
線カラ足一步モ外ニ出ルト云フコトガ出來
ヌノデアリマスガ、ドウシテモ此商租問題
ヲ解決スルカ若クハ治外法權ガ撤廢ニナッ
テ日本人ガ何處へ行^フテモ差支ナイ、生命財
產モ安固デアルシ自由ニ何カ出來ルト云フ
ヤウニナリマスレバ、餘程其發展ノ餘地ガ
アルンデヤナイカト思フノデアリマス、ソ
レカラ畜產就中豚ノコトニ付テノ御尋ガ
アッタヤウデアリマスガ、關東州内ハ矢張リ
豚ガ大變能ク育ツヤウデアリマシテ、支那人
モ一戸ノ家ニ數匹數十匹ト云フモノヲ皆飼
養イタシテ居リマスシ、關東廳ト致シマシ
テハ、是ガ改良會殖等ヲ普及サセルヤウニ
那ノ馬ト云フモノハ極メテ其土地ニハ適シ
テ居リマスケレドモ、體尺ガ低イノデ、陸
軍等デモ是ガ體尺ヲ大キクシテ少クモ四尺

八寸位ノ大キサノモノヲ拵ヘルト云フヤウ
ナ考ヲ持テ居リマス爲ニ、是亦色ニノ方
法デ獎勵ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、長
山列島モ矢張リ私モ昨年チヨットアノ方面
ニ參リマシタガ、相當豚等ヲ飼育イタシテ
居リマスケレドモ、アノ方面ハ何サマ烟モ
少クアリマスシ、交通ガ不便デアリマス、
シテ、關東州内ノ方ガ寧ロ畜産ノ方ニハ長
山列島ヨリハ有望カト思フノデアリマス、
豚ノ數等モ統計ノ方ニ出テ居ルヤウデアリ
マスガ、今ハッキリ致シマセヌデスガ、又後
程調べマシテ御手許マデ差上ゲルコトニ致
シマス、要スルニ豚トカ畜産等ハ比較的近
頃之モ力ヲ入レテ居ルノデアリマス
○黒岡帶刀君 アナタ方關東州ノ其他ノ官
憲ノ御盡力ニ依テ大連ハ比較的生命財產
ガ安固デアルト云フコトヲ支那人モ認メ
テ、近頃ハ張作霖ノ近親等モ大連ニ避難
シ、又上海ノ方カラ避難スル人ガ段々殖工
テ來ルト云フコトニアリマスガ、實際サウ
テ云フヤウナコトガアリマセウカ、又其他銀
行等ニ於テ滿洲上海ノ銀行カラ金ヲ引出し
テ大連ノ銀行ニ預ケルト云フヤウナ傾キモ
アルノデアリマセウカ、如何デゴザイマセ
ウカ

○政府委員(廣瀬直幹君) 此張郭戰爭、其
後引續キ張作霖ト吳佩孚トノ戰爭以來打續
ク支那ノ動亂、就中滿洲ノ不安ガアリマス
ル爲ニ、支那人が關東州若クハ滿鐵附屬地
内ニ這入シテ來ル者が相當多いノデアリマ
ス、大連市ノ如キハ先日モ報告ガ參ツテ居
タノデアリマスルガ、奉天ノ張作霖ヲ初メ
ト致シマシテ、其外吉林省、黑龍江省、或
ハ山東省ノ張作相、色々有數ナ人ガ
數十軒彼處へ家ヲ拵ヘテ居リマスルノデ
ス、家屋敷ヲ拵ヘマシテ、多イノハ十万圓

モ出シマスシ、數千圓モ出シテ皆家屋敷ヲ
拵ヘテ、避暑地ト云フ名前ハシテ居リマス
ケレドモ、一朝動亂デモアリマスレバ其處
ヘ避難シヤウト云フヤウナ考ガ認メラレル
ノデアリマス、満鐵ノ附屬地等モ就中奉天
等ニ於キマシテハ御承知デアリマセウガ、
東拓會社ノ投資シタ家ガ澤山アッテ、此奉
郭戰爭以前マデハ殆ド空家バカリデアッタ
ノデ、東拓會社モ非常ニ困ツテ居タノデア
リマスガ、奉郭戰爭以來モウ満鐵附屬地ガ
非常ニ安全ダト云フノデ、戰爭中ハ無論避
難シテ來テ居リマシタガ、戰爭後モ引續キ
彼處ヲ借リル者モアリマスシ、露西亞人等
モ這入リマシテ、今日ハ東拓ノ借家等ハ數
百軒アルノデアリマスガ、空屋ハ一ツモナ
イト云フ位ニナツテ居リマスシ、ソレカラ
又奉天ニ於キマシテハ交通銀行、中國銀行
等ハ城内ニ店ガアルノデアリマスルケレド
モ、是ハマア取引上ノ必要ダト云フ譯デア
リマセウ、満鐵附屬地内ニ銀行ノ出張所ヲ
置クカラト云フテ昨年デアッタ思ヒマス
ガ、三箇所程許シタノデアリマス、是等ハ
非常ニ立派ナ地下室モ拵ヘテ安全ナル倉庫
ヲ置ケルヤウナ設備ヲヤルヤウデアリマ
ス、是ハ矢張リ支那ノ方ガ不安デアッテ附
屬地ノ方が極メテ安全ダト云フコトニナル
ノデヤナイカト思ヒノデアリマス、支那ノ
側カラ申シマスト、銀行ノ方カラ表面カラ
申シマスレバ無論サウ云フコトハ申シマス
マイト思ヒマスクレトモ、確カニ私共ハサ
ウ云フヤウニ信ジテ居ル、大體今申上ゲタ
通リデアリマス

○淺田德則君 私モチヨット伺ヒタイト思
ヒマスガ、嘗テ朝鮮人ガ關東州内ニ移ツテ
來テ水田ヲ試ミタ云フコトヲ聞キマシタ
ガ、ソレ等ハマダ矢張リ持續シテ追々増ス
方デアリマセウカ、或ハ近頃ハサウ云フモ
カ支那人トノ間ガ餘り良クナイノデ、サウ
シテ折角朝鮮人が開墾シタ所ノ水田モ支那
人ガソレヲ回収スルト云フヤウナコトガア
ルト云フコトヲ聞イテ居タノデアリマス
ガ、ソレ等ノ事情ガ御分カリニナツテ居ル
ナラバ承知シタイ、ソレカラ先刻種々十物
產ノコトニ付テ御問答ガアリマシタガ、此
鶏卵ナド、云フヤウナモノハ御承知ノ如ク
支那ノ本土カラシテ頻リニ日本へ輸出スル
所ノ相當價額ノ大ナルモノガアリマスガ、
滿洲地方カラ關東地方、アノ地方デモ矢張
リ自給スルノミナラズ又多少ハ輸出ヲスル
ト云フ位ニ出來マスカ、或ハ鶏卵ノ如キモ
ノハ支那ノ本土カラ輸入シマスカ、序デナ
ガラ伺ツテ置キタイ

○政府委員(廣瀬直幹君) 朝鮮人ガ水田ヲ
關東州内ニ經營シテ居リマスルノハ貔子窩
ト申ス處ニ數十アルヤウデアリマス、昨年
私チヨット行キマシテ見タノデアリマスル
ガ、ソレハ矢張リ湿地ノ所デアリマシテ、
マア水田デスカラ湿地ノ所デアリマシテ、
餘り有望ナ所デナイヤウデアリマス、今日
ハ極メテ窮境ニ陥ツテ居ルヤウデアリマス
ト思ヒマス、東亞勸業會社ト申シマシテ東
拓會社等ニ關係シテ居ル會社等モ水田ハ澤
山持テ居ル、奉天城内附近ニ持シテ居ル水
田ハ、是ハ水利ノ關係モ比較的成績ガ良ク
テヤツテ居リマスガ、此處ニ皆朝鮮人ガ移
住イタシマシテ水田ヲ經營イタシテ居ルノ
デアリマス、卵ノ詰デアリマシタガ、滿洲
ハ比較的安イコトハ安イノデアリマスルケ
レドモ、マダ外ニ出斯ダケノ卵ガアルトハ
思ハレヌノデアリマシテ、アチラデハ寧ロ
デアリマス、ソレカラ黑岡サンノ豚
ノ數ハ八万頭程アリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 如何デゴザ
イマセウ、モウ御質問モゴザイマスマイ
ケテ居ルノハ餘リ多ク聞キマセヌデゴザイ
マスガ、御承知ノ満洲ノ方ハ非常ニ水田モ
澤山アリマスル爲ニ、多ク朝鮮人ノ移住者
ハニ水ノ在ル所ハ朝鮮人ガ先ヅ最初ニ水
田ニ手ヲ染メルト申シテ宜イ位デアラウト
思ヒマスガ、大抵ナ満洲ニ於キマスル水田
ハ朝鮮人ガヤツテ居ルト云フノデアリマス
ルガ、是ハモウ朝鮮人デナケレバ最初ハ
モ、近頃支那人モ矢張リ水田ノ中ニ足ヲ入
レルト云フコトヲ餘リ嫌ハヤウニナリマ
シテ、多少水田ヲヤリツ、モアリマスルシ、
又朝鮮人ニ高利貸シマシテ、サウシテ相
當成績ガ舉ガルト云フト、支那人ガ之ヲ取
リハリマセズ矢張リ朝鮮人ハ相當ナニ朝
鮮總督府モ保護スルシ外務省モ保護スルト
云フヤウナ關係デ發展イタシテ居ルノデア
拘ハリマセズ矢張リ朝鮮人ハ相當ナニ朝
鮮總督府モ保護スルト云フヤウナコト
ハ到ル所ニアルヤウデアリマス、ソレニモ
シテ、多少水田ヲヤリツ、モアリマスルシ、
又朝鮮人ニ高利貸シマシテ、サウシテ相
當成績ガ舉ガルト云フト、支那人ガ之ヲ取
リハリマセズ矢張リ朝鮮人ハ相當ナニ朝
鮮總督府モ保護スルシ外務省モ保護スルト
云フヤウナ關係デ發展イタシテ居ルノデア
拘ハリマセズ矢張リ朝鮮人ハ相當ナニ朝
鮮總督府ノ方ニオ出デヲ願ヒマシ
タ、引續イテ昨日採決ダケヲ殘シテ居リマ
シタ朝鮮總督府ノ方ニオ出デヲ願ヒマシ
テ、採決ヲ採リタイト思ヒマスガ如何デゴ
ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵黒木三次君) 御異議ナイト
認メマス、本案ハ依ツテ茲ニ可決サレマシ
タ、引續イテ昨日採決ダケヲ殘シテ居リマ
シタ朝鮮總督府ノ方ニオ出デヲ願ヒマシ
テ、採決ヲ採リタイト思ヒマスガ如何デゴ
ザイマセヌカ

○淺田德則君 政府委員ノ方ニチヨット伺ヒ
テ、多少水田ヲヤリツ、モアリマスルシ、
又朝鮮人ニ高利貸シマシテ、サウシテ相
當成績ガ舉ガルト云フト、支那人ガ之ヲ取
リハリマセズ矢張リ朝鮮人ハ相當ナニ朝
鮮總督府モ保護スルシ外務省モ保護スルト
云フヤウナ關係デ發展イタシテ居ルノデア
拘ハリマセズ矢張リ朝鮮人ハ相當ナニ朝
鮮總督府ノ方ニオ出デヲ願ヒマシ
タ、引續イテ昨日採決ダケヲ殘シテ居リマ
シタ朝鮮總督府ノ方ニオ出デヲ願ヒマシ
テ、採決ヲ採リタイト思ヒマスガ如何デゴ
ザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○委員長(伯爵黒木三次君) 御異議ナイト
認メマス、ソレデハ原案通り御異議ハゴ
ザイマセヌカ

○委員長(伯爵黒木三次君) 御異議ナイト
認メマス、ソレデハ原案通り御異議ハゴ
ザイマセヌカ

マスガ、昨日來色ニ詳シイ御説明デ、此將來ノ複線事業若クハ、今回買收サレル線路ノコトニ付キマシテハ凡ソ承知ヲ致シマシタガ、此買收ノ中ニ日月潭ニ關聯シテ居所ノ會社、是マデ建設イタシタ外車埕ト云フ鐵道ノ將來ニシテは臺東ノ方ニモ連絡シナケレバナラスト云フヤウナ御詫モアリマシタガ、如何ニモ地圖デ見ルト云フト、マア將來ハ是ガ若シ横斷スルコトガ出來レバ誠ニ必要ナモノデアルガ、是ハ餘程前途遼遠ナコドデハナイカト思フノデスガ、何カア御著手ニナッテ居ルコトガアルノデスカ、之ニ付テ之ヲ臺東ノ方ニ連絡フスル、幾分カ御著手ニナッテ居ルコトガアルノデスカ、ソレニシテモ格別之ヲ今買收シナケレバナラヌト云ア必要ニ迫ツテ居ルヤウデモナインデアリマスガ……ソレカラ日月潭ノ事業ト云フモノハ今中止ノ形デアリマスルガ、昨日來御詫ノ通りニ是ハ其規模ガ餘りニ過大ニシテ此需給ノ關係ヲ付ケルコトガ出来ナイト云フ、イカサマサウ云フ事情ナラバ是ハ已ムヲ得ナイデアリマセウガ、折角ノ此水路ヲ全部ヤラズトモ、此度買收ヲスルト云フヤウナ資金ヲ幾分カ利用シテ、モウ少シ電力ト云フモノヲ利用トスル云フ方ノ御考究ハナイモノデアルカ、又ソレ等ノコトハ十分ニ御研究ニナッタ末ノコトデゴザイマセウカ、其點ヲモウ一應確ニ承ッテ置キタイ

トハ或ハ遠キ將來ニ實現サレルカモ知レマ
セヌガ、ナカ／＼左様ナ譯ニハ容易ニ參リ
兼ネルト思ヒマス、從フテ此横斷鐵道ト云フ
ヤウナモノノ調査モ致シテ居ル譯デハゴザ
イマセヌ、唯今申上ダマシタ鐵道線路ガ霧社
社埔里ノ山間部ノ平原ニ通ジテ居リマシテ、
此鐵道ノ終點ノ所カラ更ニ輕便鐵道ハ霧社
埔里ノ方ニ通ジテ居リマス、「トロック」ニモ
通ジテ居リマス、色ニノ方ニ接續シテ居ル
マスル、而シテ先キハ東部花蓮港ニ連絡シ
テ居ルヤウニ、丁度交通ノ橫斷的要衝ニ當シ
テ居ル路線デアルト云フコトヲ申上ダタ譯
デアリマス、此鐵道ヲ買收イタシマス理由
ハ先達モ申シマシタヤウニ、元々此鐵道ハ
將來ハ國有ノ鐵道ト統一シテ運轉利用セラ
ルベキモノデアルト云フコトヲ、豫思イタ
シマシテ、鐵道ノ規格其他ガ大體ニ國有鐵
道ト同ジヤウニ、軌條モ三呎六吋、其他ノ
設備モ之ニ準ジタ施設ガシテアリマシテ、
他ノ臺灣ニ於ケル輕便鐵道トハ、全然初メ
ヨリ趣ヲ異ニシテ建設サレテ居リマス、當
初ノ此鐵道ノ目的ハ日月潭ノ大電力工事ノ
工事用ノ材料ガ莫大ナモノヲ要シマス、又
色ニ十人ノ交通等モソレガ爲ニ起リマスル
關係カラ、先づ當初ハ此工事自身ノ用途ニ
專ラ供スル目的ヲ以テ建設ヲ致シマシタガ、
是ハ何レニシマシテモ其工事が若シ豫定ノ
如ク進行シマシテ、一段落ヲ告ゲマスレバ、
矢張リ主トシテ此地方交通ノ運搬ノ用途ニ
供セラルベキ運命ニアッタノデアリマス、然
ルニ先程モ申上ダマシタヤウナ事情ニ依テ、
此水力發電工事ハ當分ノ間中止シテ置クノ
止ムヲ得ザル結果ニナリマシテ、此鐵道ハ
全然地方交通ノ用途ノミニ供セラレテ居ル
今日鐵道ニナッテ居リマス、當初ヨリ國營
ニ移サルベキ運命ノ鐵道トシテ、建設サレ
テ居ツタモノデアリマスカラシテ、日月潭

ノ發電工事ゝ大正十一年以來中止セラレ、今後ト雖モ近キ將來ニ於テ、是ガ繼續工事ヲ始メルト云フ譯ニ參ラナイト云フコトノテ、會社自身ノ本來ノ目的デナイ鐵道經營ト云フモノヲ致シマシテ、一朝風水害等ダベキカト云フ問題ニ逢著シタ譯デアリマシテ、會社自身ノ本來ノ目的デナイ鐵道經營ト云フモノヲ致シマシテ、此鐵道ヲ如何ニスベキカト云フ問題ニ逢著シタ譯デアリマシテ、會社自身ノ本來ノ目的デナイ鐵道經營ト云フモノヲ致シマシテ、此鐵道ヲ復舊シテ、交通ノ要路ニ支障ナカラシムルヤウナコトヲスル譯ニモ參リマセヌシ、地方產業を開發ノ狀況モ、此鐵道敷設以來段々進歩シテ參テ居ル譯デアリマスカラ、此際ニ於テ此鐵道ヲ國營ニ移シマシテ、國營鐵道ノ「システム」ノ中ニ入レマシテ運用イタシマスコトガ、一體ノ交通政策ノ上カラ見マシテ適當デアルト考ヘタノデアリマス、而シテ其結果トシテ唯今御質問ニリマシタヤウナ臺灣ノ電力需給ノ問題ニハ、相當ニ好イ結果ヲ生ズルヤウニ考ヘタリマス、日月潭ノ工事ガ誠ニ規模ノ大キイモノデアッテ、之ヲ其儘ニ遂行シテモ、差當リ電力ノ需給其他ノ關係カラ見込ガナイトシテモ、何カ小規模ニデモ之ヲ利用シテ、電力ノ當面ノ急ニ應ジテ行クト云フヤウナコトが出來ヌカト云フ、第二ノ御尋ねガアリマシタ、是ハ日月潭發電工事ノ計畫ガ約十万「キロ」ノ電力ヲ起スト云フコトニナツテ居リマス、之ニ要スル色ニナ施設ヲ進メテ參タノデアリマス、今此場所ヲ非常ニ縮少シテ、少サナ發電工事ヲ此處デ致シマスト云フコトハ、殆ド今日マデ考慮サレテ居リマセヌ、又テタヤウナ次第デアリマス、其場所ニ小サナ規模ノ水力發電工事ヲ新ニ致スト云フ事柄ハ餘リ有利ナモノデゴザイマセヌ、從テ

臺灣電力會社ニ於キマシテハ此大工事ハ由
止ノ儘ニ致シマシタケレドモ、臺灣ニ於ケ
ル電力ノ需要ト云フモノハ年々二三千キロ
ワット」ゾ、増進イタシテ居リマス之ニ應ズ
ル施設ト云フモノヲ致シテ參リマス、是ガ
爲ニハ差當リ建設費ヲ多ク要セズ、又經理
ノ關係カラ見マシテモ比較的有利デアル
認メラマス火力發電ノ設備ヲ以テ近畿諸
來ニ於ケル年々ノ電力ノ需要ニ應ジテ行クア
此鐵道ノ買收ニ依テ受ケタル金ハ電力會社
ニ於テハ火力發電ノ設備ニ漸次之ヲ充テ、
參リマシテ、是モ一時ニ直ニ大キヤニ設備
ヲスル必要ハアリマセヌ、充テ、參リマシテ
シテ電力ノ當分ノ需要ヲ充シテ行クト云
計畫ヲ立テ居リマス、是デ以テ臺灣ニ於
ケル電力ノ需給ノ問題モ相當ナ解決ガ出來
ルヤウニ考ヘテ居ル次第アリマス、國家
トシマシテハ此鐵道ノ買收ハ國家ノ交通政
策カズ、見テ、當然解決ヲ致ヘナインデ
アリマスケレドモ、一面ニ於テ鐵道會社ハ
是デ以テ會社ノ使命デアル臺灣ノ電力供給
ト云フ上ニ圓滑ヲ期スルウナ方法ニ進ンデ
參リマスコトモ出來ルヤウナ結果ニ相成リ
マスヤウナ次第ニナツテ居リマス

少御説明ヲ得タコトモアリマスガ、支那時
代ニ於テハ臺灣ト云フモノハ洵ニ危險ナ場
所デアツタ、測候所モ無シ燈臺モ無シ、ソレ
デ萬國ノ爲ニ便宜ヲ與ヘルヤウナコトガ無
カッタノデスガ、併ナガラ日本政府ガ彼處ヲ
統治スルヤウニナリマシテカラ築港モヤル
シ、又殊ニ亞米利加ガ其他ノ船モ寄港スル
ヤウニナリ、米國ニ茶ヲ積出ストカ、或ハ
又海軍デ測量ヲシテ、航路モ安全ニシ、燈
臺ヲ拵エ、測候所ヲ拵ヘル、是ハ皆帝國以
外ノ勢力ニモ一般ニ便宜ヲ與ヘテ居ルノデ
アリマス、其趣意ト云フモノハ日本ニ各國
カラ臺灣ノ占領ヲ希望スルト云フコトガア
リマシテ、他ノ政府ニ讓ラヌト云フコトヲ聲
明シテ吳レスカト云フコトガアツテ、斯ウ云
ブ聲明ガアッタ、讀ンデ見マスト「明治二十八
年七月十九日日本政府ハ臺灣海峽自由航海
ヲ宣言ス、帝國政府ハ一般ノ國際通商ノ利
害ヲ慮リ左ノ如ク宣言ス、帝國政府ハ臺灣及澎
湖島ヲ他國ニ譲歩セサルコトヲ約ス」斯ウ云
フコトヲヤツテ、即チ外國等ニ宣言ヲシテ、
外國ノ爲ニモ臺灣ヲ發達サシテ便宜ヲ與ヘ
ル義務ガ日本ニアルノデス、ソコデ即チ、
或ル支那人、或ル臺灣人ナドニハ、即チ日
本ハ今ノ威海衛ノ還付トカ云フヤウニ、臺
灣モ一時ノ專有デアツテ、是ハ、又運動スレ
バ支那帝國ノモノニナルト云フヤウナ考ガ
アルヤモ知レスト考ヘテ居リマス、ソレハ
何故カナラバ、數年前デアルガ、支那カラ
不逞支那人ガ參ツテ臺灣人ヲ煽動シテ、臺灣
ガ又支那ニ歸スルヤウニシテヤラウト云フ
ニハ、日本政府ハ即チ學校ヲ卒業シテモ差

別待遇ヲシテ、臺灣人ヲ即チ役人ニ使ハヌト云フノデ、北京ノ役人ニナッタ、北京ニ於テ使テ居ル、ソンナ人ガアッタ云フコトヤウナ疑ガアル、ソンナ疑ヲ有ツテ居ルト云フコトガアリマスガ、ソレハ斯ウ云フコトガハッキリ分ラ、又カラ、サウ云フコトニナルノダラウト思ヒマス、是ハ日本ノ政府デ以テ列國ニ約シテ、臺灣ハ永遠ニ他國ニ讓與セザルコトヲ約シテ居リマス、決シテサウ云フコトガ日本ダケデ任意ニ出來ル譯デナイト、思ツテ居ルカ知ラヌガ、此事ハ臺灣ノ人ニモ能ク心得サシテ置カレルヤウニ希望スル、ソレカラモウ一ツハ、明治三十一年四月二十三日ニ日本帝國ト清國トノ間ニ福建省不割讓ノ條約ト云フモノガ成立シタ、是ハ同年ノ四月二日ニ、日本ノ還シタル威海衛ヲ支那カラ英國ニ貸シマシタ其報酬トシテ云々日本ト支那ノ間ニ福建省不割讓ノ條約ヲ成立サシタ、ソレ故ニ即チ其後ニ亞米利加ナドカラ汕頭ト云フモノヲ租借シタイトイ云フコトデ支那ニ交渉ガアッタヤウニ思ヒマスガ、又伊太利カラモ同ジヤウナコトガアッタガ、ソレハ日本ガ不服ヲ唱ヘタ、ソコデ日本ニ於テハ臺灣領有後對岸福建省ニハ臺灣人モ尠カラヌカラ、即チ今マデモ頻リニヤツテ居ルガ間接ニ努力シテ、學校モ設ケヤウシシテ、色ニ臺灣人ノ爲ニ福建省ニ於テモ便宜ヲ與ヘテ居ルコトガアル、此眞意ヲ少シ今ノ臺灣人等が誤解シテ居ル所ガアルヤウニ見テ居リマスガ、併シマア其時ニ斯ウ云フコトガ成立ツタ、私モ明治三十二年頃ニ福建省ニ渡ツテ、福建總督ニ會ヒリマスガ、其時ニ幸ニ此福建省ノ總督、此條約ニ調印シテ居ル一人デアル、ソレガ頻

リニ優待シテ吳レマシテ、私ノ希望ヲ容レ
テ意思ヲ疏通シタコトガアリマスガ、私ハ
仕合セナコトデアルト考ヘテ居ツタ、マアサ
ウ云フヤウナコトハ：：即チサウ云フ誤解
ハ是カラ先キ無イヤウニ一ツ私ハ希望スル
ノデアリマス、ソレカラモウ一言、此朝鮮
ノ圖面ヲ見マスト一等道路二等道路ト云フ誤
モノガチヤント分ルヤウニシテアリマス
ガ、臺灣ニ於テモ鐵道ノ外ニ或ハ國道トカ
カ、縣道トカ、里道トカ云フモノガアツテ、
自動車等ガ通ズルヤウニ多少ハナツテ居ル
カ知レマセヌガ、此圖面ニ於テハ分ラナイ
ガ、ソコラニ邊ハドウナツテ居リマセウカ、
道路ノ方モ鐵道ト同時ニ御着手ニナツテ、自
動車ノ通ズルヤウニスル御計畫ニナツテ居
ルノデアリマセウカ

者ノ中ニ多少サウ云フ風ナモノニカブル
者モアリマスガ、總督府ト致シマシテハ努
メテ臺灣ノ人心ヲ能ク指導シ、我帝國ノ統
治ニ服シ、皇恩ノ有難キニ悅服イタサセルヤ
ウニ努メテ、物質的ノ施設ト相並ンデ、精神
的ニモ我ガ國家ニ渾然トシテ融合スルヤウ
ニ仕向ケテ參リタイト云フコトニ努力ヲ致
シテ居ルヤウナ次第ゴザイマス、ソレカラ
道路ノコトニ付テ御尋ネデゴザイマシタガ、
是ハ差上ダマシタ圖面ニハ這入テ居リマ
セヌケレドモ、先年御協賛ヲ經マシテ基隆
カラ高雄ニ至ル此縱貫道路ト云フモノガ、
略、路面ハ出來上ツテ居リマス、唯途中ニ大
キナ川ガ澤山有リマシテ、此川ニ橋梁ガ架ッ
テ居ナイノガ大部分デアリマス、ソレガ爲ニ
道路ハ路面ダケ出來テ、未ダ十分ニ效用
ヲ爲スニ至ツテ居リマセヌ、デ十年計畫ヲ以
テ漸次架橋ヲ致シテ縱貫道路ヲ完成イタス
計畫デ、今著々進行イタシテ居リマス、デ是
ガ先ヅ國家ガ自カラ主トシテ力カロ盡シテ居
ル西部ノ重モナル路線デアリマス、ソレカラ
東部ニ於キマシテハ基隆カラ蘇澳ト申シ
マスル所マデ鐵道ガ延ビテ居リマス、蘇澳カラ
花蓮港ト申シマス東部ト北部ノ境、是ニ
通ジマスル道路改修ヲ計畫イタシテ居リマ
ス、縱貫路線ハ、此橋梁ガ出來上リマスル
ナラバ無論自動車ヲ十分ニ通ズルコトノ出
來ル、完全ナル道路ニナリマス、ソレカラ
西部カラ東部ニ通ズル唯今申上ダマシタ蘇
澳、花蓮港間ノ道路モ、自動車ヲ通ズル程
度ニ改修ヲ加ヘテ參リマス積リデ居リマ
ス、是等ガ大キナ所謂一等ノ路線トデモ申
スペキモノデアリマス、此外地方ノ道路網ハ
ボツト出来ツ、アルノデアリマスルガ、臺
灣ハ今日ニ至リマスマデ道路ノ發達ハ極メ
テ遲レテ居リマス、大體此縱貫ノ國有鐵道

ガアリマシテ、此國有鐵道ヲ起點トシマシテ輕便鐵道ガ縱横ニ走ラ居リマス、又其間ニハ軌道「トロ」ガアル、是モ隨分長ク延長哩數ヲ有テ居リマス、サウシテ御承知ノ通り、島内ニハ古來氾濫ヲ重ね参リマシタ川ガ澤山流レテ居リマスノデ、道路ヲ作りマシテモ、橋梁ト云フ難問題ニ打ッ突カラマス爲ニ道路ガ十分ニ發達セズシテ、先づ鐵道ニ輕便鐵道軌道ト云フヤウナモノガ發達シマシテ、是デ相當ナ此交通ノ必要ニ應ジテ參ッテ居リマシテ、道路ガ一番遅レテ居ル、併ナガラ近年ノ地方進歩發達ノ狀況ハ、此道路交通ヲ近距離ニ對シテ必要トシ又長距離ニ於テモ、道路ノ必要ヲ色ニナカカラ感ジテ居リマス、サウ云フヤウナ時期ニナリマシタノデ、縱貫路線ノ完成ヲ圖リマスト共ニ、地方ノ第二流、第三流ノ道路ヲ漸次改良シテ行キタイ考ヘデアリマス、未ダ道路ノ整理等ハ、内地等ニ於ケルヨリハ確立シテ居リマセヌ、今後考究イタシマシテ、漸次經費ノ負擔、道路網ノ完成ノ順序等ヲ考究シテ行カナケレバナラナイモノデアルヤウニ考ヘテ居ル次第アリマス○大城兼義君 此私設軌道ト云フノガアルノデスガ、ソレハ團體デ「トロ」ヲ、詰リ軌道ヲ施設シテアルガ、是ハ個人デヤンテ居ルノデスカ

○政府委員(後藤文夫君) 是ハ大部分ハ個人ノ經營デアリマスガ、會社ヤ團體デヤンテ居ルノモ尠クアリマセヌ、個人ノ經營又ハ地方團體ノ經營デゴサイマス○大城兼義君 分リマシタ、モウ一ツ此三呎六吋トカ或ハ二呎六吋トカ云フモノハ一向計算ガ分リマセヌガ、ドウ云フ風ナ計算デスカ

○政府委員(後藤文夫君) 三呎六吋ハ丁度内地ノ鐵道ト同ジ軌道ノ鐵道、二呎六吋ハ

小サナ鐵道デ、主トシテ製糖會社ガ自己ノ原料運搬ニ用ユル爲メ、又其一部ハ一般ノ旅客貨物ノ交通ノ營業線トシテヤッテ居リマス

○大城兼義君 ドウ云フ勘定デヤッテ居リマスカ、三呎六吋トカ二呎六吋トカニソレハドウ云フ計算方法デズカ

○政府委員(後藤文夫君) 「レール」ノ中デス

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是カラ臺灣事業公債法中改正法律案、臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案ノ討議ニ移リマシテ、兩案ヲ議題ニ供シマス、兩案共原案通リデ御異議ハゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵黒木三次君) 御異議ナイト認メマス、依テ本案ハ茲ニ可決サレマシタ、ソレデハ之ヲ以テ閉會イタシマス

午後零時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長	伯爵黒木 三次君	副委員長	男爵岩倉 道俱君	委員	子爵戸澤 正己君	浅田 德則君	黑岡 帯刀君	西野 元君	大城 兼義君	板谷 宮吉君
政府委員	大村 卓一君	後藤 文夫君	富田 松彦君	關東廳內務局長	西山 左内君					
臺灣總督府鐵道局長		臺灣總督府總務長官		關東廳財務部長						